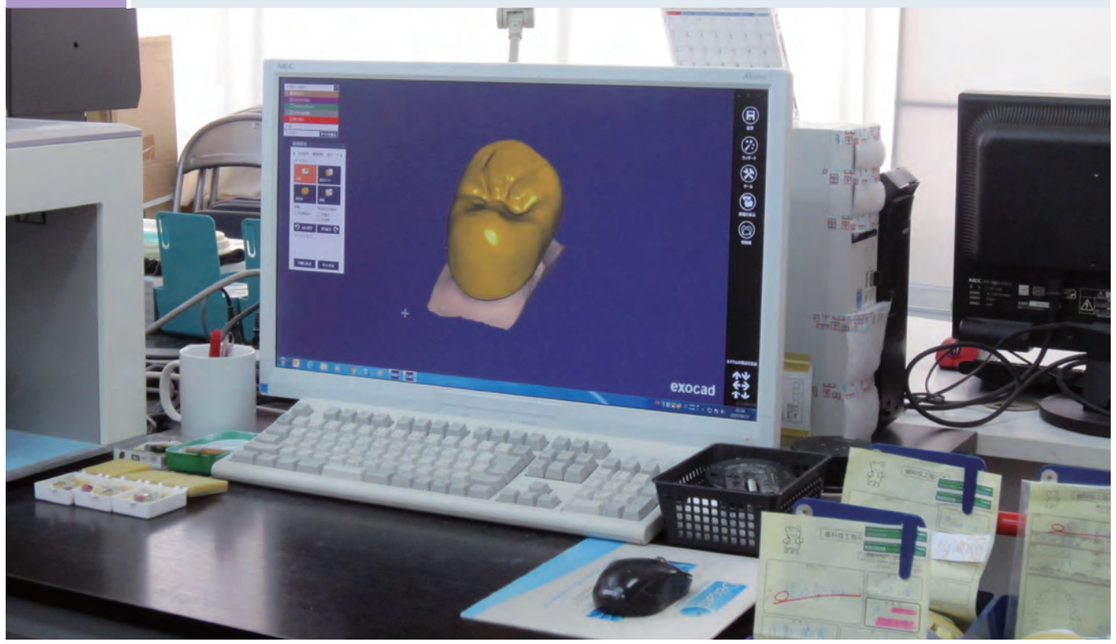
13 株式会社 デンタル・ベア



歯科技工用CAD／CAM機

歯科技工の高度化と連携強化で業界の底上げを図る

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

歯科用ＣＡＤ／ＣＡＭによる デジタル技工の安定的提供サービス

■ 事業概要

ものづくり補助金を活用し、歯科用のＣＡＤ／ＣＡＭ機を導入。デジタル加工技術を高度化した。ＣＡＤ／ＣＡＭ設備を有しない他の技工所などとの連携を強め、そこでは対応が難しいデジタル加工部分の作業を担っている。既に保険医療が適用されているＣＡＤ／ＣＡＭ冠に加え、ハイブリッドレジンブロック素材やジルコニアセラミック素材など、今後の需要拡大が見込まれる歯科用冠の高精度加工に幅広く対応できる体制を整えた。この体制を生かし、他の技工所の技術を補完することで、業界全体の底上げを図っている。

ラボとしての職場環境を整備

課題	取組	成果
●歯科技工はその大部分が手作業の世界。近年は、歯科用冠に対して機能性だけでなく審美性も求められ、加工対象となる素材の多様化に加え加工精度も高い水準で求められる。そのため、多くのコストと時間を費やしていた。	●歯科用ＣＡＤ／ＣＡＭ機を導入。ジルコニアセラミック素材への精密加工など、他の技工所では対応が難しいデジタル加工部分の作業を請け負うことで、他の技工所との連携を強めている。	●これまでと比べて、加工能力が約３倍に向上。他の技工所との連携も強まってきた。受注対応に限界がある個人経営規模の技工所の受注能力を向上することで歯科技工業界全体の底上げに貢献している。

業務内容

デジタル加工を高度化。多様化が進むニーズに応える

歯科技工が主事業。冠や金属床、デンチャー、インプラントなど歯科医療に関わる多様な加工ニーズにきめ細かく対応している。歯科技工は、ほとんどが患者ごとの“一品料理”であり、一つの案件に多くの時間と手間を必要とする。そのうえ歯科技工所は一般的に小規模事業者が多いため、受注できる案件量や加工技術に限界がある。

そこで同社は業務の効率化を図り、歯科用のＣＡＤ／ＣＡＭ機を導入。近年、需要の高まりを見せるジルコニアセラミック素材へのデジタル加工を高度化した。他の技工所では設備不足により受注できなかったデジタル加工部分の作業を同社が請け負っている。

高精度加工を安定的に

連携強化で大手に対抗。熟練技の活用も重視

このように同社が技術補完することで横の連携を強化し、自社だけでなく他の技工所の受注のパイを拡大。技工士の高齢化と後継者不足により今後の発展・拡大が見込めない歯科技工分野全体の底上げに力を注いでいる。資金力を武器にした大手企業の参入に、連携強化で対抗しているという。

機械化に取り組む一方、細かなニュアンスの表現や微調整など熟練技工士の経験やスキル、センスを活用することも業界では大きなテーマとなっている。横の連携強化は、地域の熟練技工士の有効活用も大きな目的としている。

デジタル化のスピードに対応すること、熟練技工士のスキルを有効活用すること、この２本柱を事業の軸として業界を支えている。

職人の熟練技も重要

強みとビジョン

保険医療の対象拡大を視野に対応力の強化図る

ハイブリッドレジンブロックを素材としたＣＡＤ／ＣＡＭ冠は現在、部分的に既に保険医療が適用されているが、今後はさらにその適用範囲が拡大するものと思われる。また、ジルコニアセラミックを素材とした特に前歯については、保険医療が適用されなくても審美性を求めて装着したいというニーズが拡大しており、このニーズに応じて今後、保険医療の対象素材になることも見込まれる。

これら保険医療の適用範囲と対象素材の拡大見込みを背景に、この需要増に対応できるよう社内体制の強化に取り組んでいく。加工効率のさらなる向上が図れる設備の導入に加え、技工所間のネットワーク強化による技術の相互補完などに力を入れ、総合力でビジネスチャンスを獲得していく考えである。

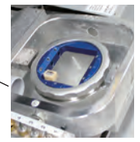
患者ごとにきめ細かく対応

職場環境の改善進め人材流出を防止

また、若手人材の育成と確保、在宅勤務など働き方改革による女性の能力活用なども進めていく。南郷孝嘉社長は「歯科技工分野は、新卒採用しても３年で７割の社員が他の業界へ移ってしまうのが現状。また、技術者の高齢化と後継者不足といった課題もある。これらの課題に立ち向かうため、機械化拡充やテレワーク活用などによる職場環境の改善にも力を入れる」と強調する。

業界全体の維持・発展を目指して取り組む

歯科技工の分野は近年、需要獲得や人材確保が難しく、業界全体の拡大が見込めないという厳しい環境にあります。このような状況を打破するべく、当社は自動化機器の導入や同業他者との連携強化に取り組むことでビジネスチャンスを取りこぼすことのないよう、業界全体の維持・発展に力を注いでいます。


<‹‹‹ イメージ

●社　名　株式会社 デンタル・ベア
●代表者　代表取締役　南郷 孝嘉
●住　所　〒580-0016
大阪府松原市上田6-7-26 2F
●ＴＥＬ　072-334-8052　●ＦＡＸ　072-339-7108
●資本金　9,900千円　●従業員　4名

labo@dental-bear.com/

●主な取引先　歯科技工所
●主な保有設備　歯科技工用CAD／CAM、シンタリングファーネス
●主力製品　歯科用冠

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

歯科技工所は、その多くが個人経営の規模であり、人材や資金に乏しい。保険医療の適用範囲拡大や顧客ニーズの多様化が見込まれる中、大手企業の参入が加速すれば、太刀打ちができなくなるのは明白。この状況に対抗するため、自動化の推進による作業効率アップと、横の連携強化による総合力向上を２本柱に力を注ぐ同社の取り組みは、業界全体の底上げに寄与しており、今後進めるべき活動の指針となっている。